

令和5年度 岩手県立水沢商業高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

校長		副校長		事務長		総務部長		記録者	岩崎 亜希 大石 美香
令和5年 6月28日(水) 13:30~14:30								場 所	実践室
出席者	本校PTA会長 本校同窓会長 明浄会会長 水沢中学校校長 株式会社テクト社長 JA岩手ふるさと企画課 課長 奥州市立水沢図書館長 本校校長 本校副校長 本校事務長 本校総務主任 本校図書部主任 本校商業科主任 本校総務部(記録) 本校総務部(記録)			伊藤 正克 様 高橋 政志 様 高橋 信 様 村上 俊明 様 高橋 崇 様 山田 良也 様 佐藤 良 様 大石 恭平 様 下権谷久和 様 小森 美智 様 菅野 行健 様 中村 和宏 様 新沼 智之 様 大石 美香 様 岩崎 亜希 様			備考	欠席2名	

1 開会のことば(副校長)

2 校長挨拶

3 自己紹介

4 協議

(1) 学校運営協議会設置要項について(進行:校長)

質疑なし

(2) 会長の互選について

事務局より提案・・・同窓会長 高橋政志 様を提案

(3) 令和5年度活動報告と活動計画について(進行:高橋政志 会長)

資料

学校要覧

(4) 令和5年度学校経営計画について

資料

校長から・・・目標に向かって失敗を恐れず挑戦したと答えた生徒の割合が、目標値よりも低かった。自己肯定感の育成のためにバックアップをしていただきたい。

委員A・・・自己肯定感の育成の達成指標85%は高いのではないか。実績が82.7%もあるのは挑戦したと認めても良いものだと思う。

委員B・・・仕事上、人材育成に携わっているが、高校で自己肯定感の育成をしていただけるのは企業としてはありがたい。

委員C・・・生徒たちは、どのような目標を立てているのか知りたい。具体例があると良い。

挑戦をどのように捉えているのだろうか。

校長・・・生徒それぞれに目標はあると思うが、アンケートでは具体的な質問はしていない。

委員C・・・この数値だけでは測ることができないのではないか。具体性がなく、子どもたちに寄り添っていないような気がする。

委員D・・・自己肯定感の育成は中学校でも取り組んでいる目標の柱の一つである。中学校では、「自分には良いところがあると思いますか?」という分かりやすい言葉でのアンケートになっている。行事や体験活動を通して達成感や良いところを見つけられる場を増やしたいと考えている。

(5) その他

委員E・・・日商簿記の受験者数が少ないような気がする。この人数だと普通高校とあまり変わらないのではないか。日商簿記検定は3級でも持っていて良い検定である。全員受験でも良いのではないか。

校長・・・全商検定後に日商を受験するが、そのレベルに達していない生徒もいる。

委員C・・・カリキュラム上の都合もあると思うが、日商簿記検定など、社会に出てから役立つ資格を取らせてほしい。

委員E・・・全商簿記検定は日商簿記検定の入り口として、目標となる検定である。

・チャレンジショップについて

チャレンジショップ資料

・図書委員の活動について

図書部からの資料と活動チラシ

5 意見交換

活発な協議が行われたため意見交換はなし

6 その他（諸連絡及び授業参観について）

・第2回学校運営協議会・・・11月～3月で予定（後日案内）

・授業参観について・・・1学年は奥州商工会議所の菊地様を講師に招いて「地域産業講座」。
2, 3年生は道徳授業「こころの道標」。

7 閉会のことば（副校長）